

令和7年度（令和6年度分）
教育に関する事務の管理及び執行の状況
点検・評価結果報告書

令和7年8月
玖珠町教育委員会

目 次

1	点検・評価の概要	・・・・・・・・P 1
2	令和6年度玖珠町教育委員会の重点方針	・・・・・・・・P 3
3	点検・評価調書の説明	・・・・・・・・P 12
4	点検・評価一覧	・・・・・・・・P 14
5	事務管理の執行状況点検・評価基準	・・・・・・・・P 15
6	事務管理の執行状況点検・評価調書	・・・・・・・・P 16

1. 点検評価制度の概要

(1) 経緯

平成18年12月に教育基本法が全部改正され、これに続き地方教育行政の組織及び運営に関する法律も、平成19年6月にその一部が改正され、平成20年4月から施行されました。

この法律の改正により、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況について点検及び評価を行い、その報告書を議会へ提出し公表することが義務付けられました。

(2) 目的

事務の点検・評価は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定に基づき、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況を点検・評価することにより、効果的な教育行政の推進に資するとともに、住民への説明責任を果たすことを目的としています。

(3) 評価等の対象

評価等の対象は、毎年度策定している玖珠町教育行政の重点方針であり、各方針の具体的取組に目標指標を設け、達成率から総合的に令和6年度分の事務の管理及び執行状況について点検・評価したものです。

(4) 評価の方法について

重点方針の具体的な取組に目標指標を設け、客観的に事業の達成度が分かるようにしています。複数の具体的な取組の達成度を総合的に判断し、教育委員会の「自己評価」及び事務・点検評価委員会が行う「総合評価」で評価を行っています。

(5) 学識経験者の知見の活用

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第2項の規定による有識者の知見の活用については、玖珠町教育委員会事務・点検評価委員会として3名の委員が専任されています。

○委員

委員長	秦	亜紀氏
	森	初美氏
	濱邊	裕子氏

<参考>

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抄）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項に規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

令和6年度玖珠町教育行政の重点方針

令和6年4月
玖珠町教育委員会

令和6年度玖珠町教育行政の重点方針

教育行政の基調

『子どもたちに未来へのバトンを渡すために』

～ 少子・人口減少社会において地方創生を視野に入れた地域の活力を生み出す教育施策 ～

玖珠町の教育行政を巡る環境は、少子化に伴う児童生徒数の減少に加え、地域社会のグローバル化、核家族化、価値観の多様化が顕著となっています。また、SNSの普及など、急速に変化する高度情報化社会において様々な影響を受けています。とりわけ、GIGAスクール構想における一人一台端末の利活用によってオンライン授業やデジタル教材の普及など、学校現場における子どもたちの学習環境は飛躍的に変化しています。

一方、全国的に学校に行きづらさを感じる児童生徒数が増加しており、本町においても、深刻な問題となっています。そのため、玖珠町では登校支援の一環として、「学びの多様化学校（不登校特例校）」を令和6年4月に開校し、誰一人取り残さない教育施策の充実支援に取り組みます。

さらに、子どもたちの規範意識や道徳心の醸成、地域や保護者の人との繋がり希薄化が危惧され、教育現場のみならず家庭教育や地域教育のあり方も見直されています。そのような中、「地域とともにある学校づくり」を目指し、教職員の働き方改革を進めながら、地域と連携した教育活動の実践が求められています。

玖珠町第6次総合計画では「次代を担う子どもとともに 未来をつくるまち」という基本理念を掲げています。子どもたちの「心の豊かさ」や「生きる力」を育む学校教育とともに、住民一人一人が生きがいや思いやりを持った「活力ある共生社会」の実現に向けて、主体的に学び続ける生涯学習の視点が重要であることから、学校教育と社会教育が連携して実践活動に取り組みます。

最後に、玖珠町のまちづくりのテーマである「童話の里づくり」は、久留島武彦の教育精神を継承した『人材育成』が礎となっています。人が生涯にわたって学び、生き生きと暮らすために、教育の果たす役割はきわめて重要であり、教育行政、学校、家庭、及び地域がそれぞれ協働しながら地域の「童話の里づくり」に繋げていくことを基本とします。

今年度の重点方針

I 学校教育

1. 知・徳・体のバランスのとれた子どもの育成
2. 特別支援教育の充実
3. 不登校児童生徒の教育環境の整備
4. 地域とともにある学校づくりの推進
5. 組織的な学校運営体制づくりと教職員の資質・能力の向上
6. 学校における働き方改革の推進
7. 学校間・校種間のきめ細やかな連携
8. 地域の高校への支援と玖珠志学塾の充実
9. 就学前教育の質の向上と教育環境の整備
10. 安全・安心な学校づくり
11. ICTを活用した教育の推進
12. 安全・安心な学校給食の提供と地産地消・食育の推進

II 社会教育

1. 地域教育力の向上
2. 子どもと大人 家庭と地域での教育
3. 生涯にわたるスポーツ・レクリエーションの推進
4. 久留島武彦精神を継承する取組の充実
5. 文化の創造と振興
6. 地域にある文化財の保存と活用の推進
7. 生涯学習を保障する図書館サービス網の充実

III 人権教育

1. 学校教育における人権教育の充実
2. あらゆる場における人権教育の推進

I 学校教育

「自分が好き、学校が好き、玖珠が好き」と言える子どもの育成をめざし、本年度5つの視点に沿った、12の重点方針による学校教育施策を行います。

- 知・徳・体のバランスのとれた子どもの育成
- 一人一人のニーズに応じた教育の充実
- 家庭・地域に信頼され、協働して子どもを育む学校教育の推進
- 学校間・校種間のきめ細やかな連携
- 安全・安心な教育環境の確保

1. 知・徳・体のバランスのとれた子どもの育成

「第5次玖珠町学力向上推進計画」に基づき、確かな学力の定着・向上、豊かな人間性の育成及び心身の健康と体力の向上を図ります。

- ①各種調査結果を基にした、個別最適化された指導の推進
- ②体験的参加型授業・体験活動の充実
- ③日常的な体力づくりの充実
- ④副読本を用いた各小学校における久留島学習をはじめとする先哲学習の推進
- ⑤栄養教諭を活用した食に関する指導の充実

2. 特別支援教育の充実

支援を要する児童生徒の能力や可能性を最大限に伸ばし、社会的自立に必要な力を養うため、就学前から関係団体との連携を図ります。

- ①個別の指導計画の作成と活用の推進
- ②特別支援教育支援員の活用
- ③インクルーシブ教育の推進（同じ場で共に学ぶ）

3. 不登校児童生徒の教育環境の整備

多様な背景を持つ不登校児童生徒の個々に応じた教育機会の確保のため、不登校の実態把握・要因分析を行うとともに、新設する学びの多様化学校を中心とした新たな教育環境の整備・充実に取り組みます。

- ①新設校「学びの多様化学校」及びわかくさの広場と町内の各小中学校の連携によるサポート体制の強化
- ②個々に応じた指導方法・教育環境の調査研究、研修の充実

4. 地域とともにある学校づくりの推進

コミュニティ・スクール（学校運営協議会）を活用し、保護者・地域住民の学校経営への参画を促し、家庭・地域に信頼される「地域とともにある学校づくり」を推進します。

- ①積極的な情報発信
- ②地域の「ひと・もの・こと」を活用した教育活動の推進
- ③地域学校協働本部（協育コーディネーター）との連携

5. 組織的な学校運営体制づくりと教職員の資質・能力の向上

学校の教育目標達成に向けて組織的に取り組む学校運営体制を確立するとともに、互見授業や校内研修の充実、研究推進校の指定及び学校訪問等を通して、教職員の資質・能力の向上を図ります。

- ①校内研修をはじめとする各校教職員間の効果的な研修(OJT)の充実
- ②教職員への郷土を学ぶ研修の実施

6. 学校における働き方改革の推進

教師のこれまでの働き方を見直し、自らの授業力を磨くとともに、その人間性や創造性を高め、子どもたちに対して効果的な教育活動を行うことができるようにすることを目的として、学校における働き方改革を推進します。

- ①ICTを活用した日常における業務改善の取組
- ②部活動の地域移行の推進

7. 学校間・校種間のきめ細やかな連携

小学校とくす星翔中学校が連携し、中1ギャップ解消をはじめスムーズな中学校生活を送れるよう取り組みます。

また、くす星翔中学校と玖珠美山高校との連携、幼児教育施設及び小学校との連携が円滑に進められる仕組づくりに取り組みます。

- ①校種間連携組織の構築および日常的な情報共有体制の確立

8. 地域の高校への支援と玖珠志学塾の充実

地域唯一の高校である県立玖珠美山高校の存続に向けた支援を行うとともに、同校生徒の進路達成に向けた支援に取り組みます。

- ①公営塾と学校との連携による進路の充実
- ②郡外から就学する生徒への下宿助成

9. 就学前教育の質の向上と教育環境の整備

「玖珠町幼児教育振興プログラム」に基づき、就学前教育の質の向上と充実、地域の実態をふまえた教育環境の整備に努めます。また「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を幼児教育施設と小学校で共有し、円滑な接続を図ります。

- ①就学前教育と義務教育の虹いろの架け橋協議会の実施
- ②玖珠町架け橋期カリキュラムの実施・検証
- ③就学前教育にかかる研修及び就学児童を対象とした取組の充実
- ④関係機関との情報共有と就学前児童及び保護者への相談支援

10. 安全・安心な学校づくり

生活安全（防犯）、交通安全、災害安全（防災）の3つの領域それぞれにおいて、児童生徒の安全確保に向け、安全・安心な学校づくりに取り組みます。

- ①危機管理マニュアルの見直しと研修
- ②通学路安全点検による危険個所の解消
- ③施設・設備の安全点検の徹底及び整備

11. ICTを活用した教育の推進

文部科学省の推進するGIGAスクール構想において示されている「一人一人の能力や個性に応じて個別最適化された学び」の実現に向けて、教職員の研修及び学習環境の整備充実に取り組みます。

- ①ICTを活用した授業の充実
- ②児童生徒の情報活用能力の向上
- ③家庭学習での通信端末の活用

12. 安全・安心な学校給食の提供と地産地消・食育の推進

玖珠町で採れる新鮮で安全・安心な米や野菜などの食材を積極的に活用しながら、地域の農と食文化の素晴らしさを知り、郷土愛を育む取組を進めます。また、学校給食センターの施設整備により調理能力及び衛生管理を補強し、安全・安心で美味しい給食の提供に努めます。

- ①郷土愛を育む地産地消の推進
- ②新鮮で安全・安心な食材確保
- ③調理施設・設備・備品等の計画的な整備
- ④調理業務の民間委託の推進

Ⅱ 社会教育

社会教育基本計画（令和3年度から令和7年度まで）の3つの基本目標による7つの重点方針により、本年度の社会教育施策を実施します。

【社会教育基本計画 基本目標】

- 人づくり 生きがいを育む社会教育の推進
- 体づくり 心と体の調和を図る社会体育の充実
- 心づくり 郷土の文化・歴史の学習、芸術創造力の育成

1. 地域教育力の向上

地域づくりの中核となる大人自身が、地域の課題を認識し、生涯学習に対する意識を高めることで、地域づくりに参画・協働する意義を醸成して行きます。

主催講座や町内外で行われる各種講座に対して参加要請や情報提供を行い、教育力を高めて行きます。

また、子どもたちと共に学び世代間の繋がりを持つことで、子どもたちが大人になってからも地域を発展させる力となる取組を行います。

- ①主催講座の開催
- ②学校・家庭・地域による「学びの未来」創造事業
- ③世代に応じた各種学習活動の支援

2. 子どもと大人 家庭と地域での教育

家庭や地域での学びは、人間形成の基礎を養う大切な役割を担っています。学習機会の充実を図ることにより各家庭の教育力の向上に繋げるとともに、子どもたちには、地域での交流や体験を通じた活動で、学び・考え・行動するといった人格を養う環境づくりをしなければなりません。

地域学校協働本部（「協育」コーディネーター）により地域と学校の連携を強化し、子どもの豊かな成長や学びを支えて行きます。

- ①青少年健全育成協議会への支援
- ②家庭教育に関する事業の実施
- ③コミュニティ・スクール（学校運営協議会）との連携

3. 生涯にわたるスポーツ・レクリエーションの推進

心身ともに健康で充実した毎日を過ごすためには、生涯にわたってスポーツ・レクリエーションを楽しむことが重要です。

活動団体及び指導者の育成及び競技力向上の支援、体力向上・健康増進に関する情報や学習機会の提供をします。

- ①スポーツ団体、サークル活動の充実
- ②住民参加型のスポーツイベントの実施

4. 久留島武彦精神を継承する取組の充実

「童話の里」の根幹をなす日本のアンデルセン・久留島武彦の生誕150年を機に、偉業やその精神を後世に伝えるための取組を充実します。

久留島武彦の幅広いネットワークを活かせるような企画を試み、久留島武彦記念館を通じた調査・研究の成果を町民と共有することで、半世紀以上の歴史を誇る「童話の里」づくりのさらなる発展を目指すとともに、児童文化の担い手となる団体等への支援・育成を行います。

- ①第75回日本童話祭の開催
- ②久留島武彦顕彰全国語りべ大会の開催
- ③久留島武彦顕彰全国児童生徒俳句大会の開催
- ④久留島武彦童話賞子ども創作童話コンクールの開催
- ⑤小中学校をはじめとする久留島学習等の場の提供
- ⑥久留島武彦記念館による調査・資料収集・研究・企画展示・情報発信
- ⑦わらべサークル協議会への支援及び児童文化の担い手の育成
- ⑧久留島武彦生誕150年記念イベントの推進と意識高揚

5. 文化の創造と振興

文化芸術の振興は、「童話の里」づくりにとって重要な取組です。すぐれた文化芸術に触れる機会を充実させ、文化の薫る豊かな町を目指し、親しめる環境づくりを行います。

- ①巡回音楽会の開催
- ②文化芸術活動を促進するための公民館フェスティバルの開催
- ③久留島武彦記念館による企画展の開催
- ④文化芸術に触れる機会の提供
- ⑤自主文化芸術活動への支援

6. 地域にある文化財の保存と活用の推進

地域にある文化財を活用した郷土教育並びに地域の歴史文化を学ぶ場の提供が必要です。このことから、文化財の保護（保存・活用）と保存整備に取り組み、町内の小中学校への出前授業をはじめ地域づくりにつながる活動を行っていきます。

- ①文化財保護（保存・活用）の推進
- ②国指定文化財等の保存整備
- ③各小中学校の郷土教育の支援

7. 生涯学習を保障する図書館サービス網の充実

あらゆる年代に生涯学習を保障するため、既存施設を活用した図書館サービス網を充実させるとともに今後の図書館サービスのあり方について関係各所と連携・協議を深めます。

- ①わらべの館の図書の実充
- ②中央公民館図書室の実充と利用者の拡大
- ③わらべの館児童図書室と中央公民館図書室の連携
- ④わらべの館移動図書館車の活用

Ⅲ 人権教育

1. 学校教育における人権教育の実充

玖珠町人権施策基本計画に伴う実施計画に基づいて、教育活動全体を通して意図的・計画的に人権教育を推進します。また、人権教育推進校の指定による研究成果の共有、人権に係る研修会への積極的な参加等によって、教職員の資質の向上を図り、人権教育の実充を目指します。

- ①児童生徒への部落差別解消に向けた人権教育の指導及び啓発活動の推進
- ②部落差別解消に向けた教職員研修の実施

2. あらゆる場における人権教育の推進

「玖珠町人権施策基本計画」を基調に、わが国固有の人権問題である部落差別問題をはじめ、女性や子ども・高齢者・障がい者・外国人・医療など様々な人権課題について正しく理解し、その解決に向けた意欲と実践力を持った町民を育成することが重要です。あらゆる場において、学習機会の提供を人権確立・部落差別解消推進課と連携して進めます。

- ①玖珠町人権公開講座の開催
- ②広報くす「あなたの人権・わたしの人権」の掲載
- ③部落差別の解消の推進に関する法律の目的に沿った事業実施

事務の点検・評価調書説明

令和7年度（令和6年度分）玖珠町教育委員会事務の点検・評価調書

大項目（分野）	1	学校教育	担当所属	義務教育・ 幼児教育班
中項目（方針）	1	確かな学力の定着向上		

説明：玖珠町教育行政の重点方針の大項目（学校教育、社会教育、人権教育）、大項目下の中項目（令和6年度方針21項目：学校教育12、社会教育7、人権教育2）を記入しています。

1 主要事業（目指すべき方向性）【計画】

主要事業	①教育環境の整備 ②基礎学力の定着と向上
前年度点検・評価 で整理した課題	①・・・・・・を改善する ②・・・・・・を重点的に行う。

説明：主要事業は、玖珠町教育行政の重点方針の小項目を記入しています。それに対して、整理した課題等を記入しています。主要事業①＝課題①（※今後丸数字は、すべて主要事業にリンクしています）

2 令和6年度に実施した取組【実行】

主要事業①教育環境の整備
◆ ◆
主要事業：②基礎学力の定着と向上
◆ ◆

説明：主要事業の中で、実施した取組を箇条書きにしています。

3 目標指標の設定 【実行】

目標指標	単位	目標値	目標値の設定根拠（数値の年度、割合等）
①・・・・・・	台	1050	・・・・・・
②・・・・・・	%	100	・・・・・・

説明：4で目標数値の達成度から評価を行うが、目標数値の設定根拠について記入しています。

4 目標指標の達成度【評価】

目標指標	単位	目標値 a	実績値 b	達成率 b/a	達成度	自己評価	総合評価	
①	台	1050	1050	100	◎	B	C	
②	小	%	100	100.5	100.5			◎
	中	%	100	95.3	95.3			○

説明：目標数値に対して、実績値・達成率を記入しています。それにより、達成度を表しています。

【達成度：達成率に対して、「◎」100以上、「○」99～80、「△」79～60、「×」60未満】

【評価：A 十分成果が上がっている、B 成果が見える、C 成果がみられるが、更なる取り組みを要する、D 改善を必要とする、E 抜本的見直しが必要】

評価は、達成度の状況を考え、教育委員会の自己評価、事務評価部会委員の総合評価を記入しています。

5 現状認識及び今後の課題【改善】

主要事業①教育環境の整備
◆ ◆
主要事業：②基礎学力の定着と向上
◆ ◆

説明：改善項目は、事業ごとに記入しています。

令和7年度（令和6年度分）玖珠町教育委員会事務の点検・評価一覧

令和6年度 重点施策		担当	頁	自己評価	総合評価
I 学校教育					
1	知・徳・体のバランスのとれた子どもの育成	義務教育・幼児教育班	16	B	B
2	特別支援教育の充実	義務教育・幼児教育班	18	C	C
3	不登校児童生徒の教育環境の整備	義務教育・幼児教育班	20	D	C
4	地域とともにある学校づくりの推進	義務教育・幼児教育班	21	B	A
5	組織的な学校運営体制づくりと教職員の資質・能力の向上	義務教育・幼児教育班	22	B	A
6	学校における働き方改革の推進	義務教育・幼児教育班	23	C	C
7	学校間・校種間のきめ細やかな連携	義務教育・幼児教育班	24	C	C
8	地域の高校への支援と玖珠志学塾の充実	教育政策班	25	B	B
9	就学前教育の質の向上と教育環境の整備	義務教育・幼児教育班	26	A	A
10	安全・安心な学校づくり	義務教育・幼児教育班／教育政策班	28	B	B
11	ICTを活用した教育の推進	GIGAスクール推進室	30	A	A
12	安全・安心な学校給食の提供と地産地消・食育の推進	給食センター	31	A	A
II 社会教育に関すること					
1	地域教育力の向上	社会教育班 公民館班	33	B	B
2	子どもと大人 家庭と地域での教育	社会教育班	35	C	C
3	生涯にわたるスポーツ・レクリエーションの推進	社会教育班	37	B	B
4	久留島武彦精神を継承する取組の充実	社会教育班 わらべの館 久留島武彦記念館	38	B	B
5	文化の創造と振興	社会教育班 公民館班 久留島武彦記念館	41	A	A
6	地域にある文化財の保存と活用の推進	社会教育班	43	C	C
7	生涯学習を保障する図書館サービス網の充実	公民館班 わらべの館	45	B	A
III 人権教育					
1	学校教育における人権教育の充実	義務教育・幼児教育班	47	B	A
2	あらゆる場における人権教育の推進	社会教育班	48	B	A

事務管理の執行状況点検・評価の基準

達成率・達成度について

各方針の具体的取組に目標指標を設け、それに対する実績値から達成率を算定し、達成度としています。

達成度	達成度の目安
◎	達成率100%以上
○	達成率100%未満80%以上
△	達成率80%未満60%以上
×	達成率60%未満

自己評価・総合評価について

教育委員会評価を「自己評価」、事務評価部会評価を「総合評価」とし、重点方針の主要事業を総合的に評価したものとしています。

評価ランク	目標に対する達成度合い
A	「十分成果が上がっている。」
B	「成果がみえる」
C	「成果がみられるが、更なる取り組みを要する」
D	「改善を必要とする」
E	「抜本的見直しが必要」

令和7年度（令和6年度分）玖珠町教育委員会事務の点検・評価調査

大項目（分野）	I	学校教育	担当所属	義務教育・ 幼児教育班
中項目（方針）	1	知・徳・体のバランスのとれた子どもの育成		

事務報告

1408

1. 主要事業【計画】

主要事業	① 各種テスト結果を基にした、個別最適化された指導の推進 ② 体験的参加型授業・体験活動の充実 ③ 日常的な体力づくりの充実 ④ 副読本を用いた各小学校における久留島学習をはじめとする先哲学習の推進 ⑤ 栄養教諭を活用した食に関する指導の充実
前年度整理した課題	① 小学校では目標値を達成できているが、中学校では達成できていない ② ー ③ 学校体育授業等の魅力化（質・量）と家庭や地域との連携 ④ ー ⑤ ー

2. 令和6年度に実施した取組【実行】

主要事業： ① 各種テスト結果を基にした、個別最適化された指導の推進
◆ 確認テスト・玖珠町標準学力調査の実施及び分析
主要事業： ② 体験的参加型授業・体験活動の充実
◆ 体験的参加型授業・体験活動の実施
主要事業： ③ 日常的な体力づくりの充実
◆ 学校ごとに「体力向上一校一実践」の実行
主要事業： ④ 副読本を用いた各小学校における久留島学習をはじめとする先哲学習の推進
◆ 久留島武彦副読本の活用
主要事業： ⑤ 栄養教諭を活用した食に関する指導の充実
◆ 栄養教諭招致授業の実施

3. 目標指数の設定【実行】

目標指数	単位	目標値	目標値の設定根拠（数値の年度、割合等）
① 確認テストにおいて、目標値を超える学年数75%以上	%	75	全学年数33（算数・数学は年4回実施、英語は年5回実施）
① 玖珠町標準学力調査において、全学年、全教科において目標値を超える	教科数	27	小1～小3：2教科、小4：3教科、小5～小6：4教科 中1～中2：5教科 合計27教科
② 体験的参加型授業・体験活動の実施	校	8	全学校
③ 「運動が好き」の割合	%	小男90.0 小女80.0 中男90.0 中女75.0	R6体力向上アクションプラン達成指標
④ 久留島武彦副読本を活用した授業の実施	校	7	全小学校（4年生）
⑤ 栄養教諭招致授業の実施	校	8	全学校

4. 目標指標の達成度【評価】

目標指数	単位	目標値 a	実績値 b	達成率(%) b/a	達成度	自己評価	総合評価
① 確認テストにおいて、目標値を超える学年数75%以上	%	75	65.2	87%	○	B	B
① 玖珠町標準学力調査において、全学年、全教科において目標値を超える	教科数	27	16	59%	×		
② 体験的参加型授業・体験活動の実施	校	8	8	100%	◎		
③ 「運動が好き」の割合	%	小男90.0 小女80.0 中男90.0 中女75.0	小男93.3 小女86.7 中男93.3 中女80.6	100%	◎		
④ 久留島武彦副読本を活用した授業の実施	校	7	7	100%	◎		
⑤ 栄養教諭招致授業の実施	校	8	8	100%	◎		

5. 現状認識及び今後の課題【改善】

<p>主要事業： ① 各種テスト結果を基にした、個別最適化された指導の推進</p> <p>◆ 町確認テストでは、小学校算数73.3%、中学校数学27.3%、中学校英語0%と中学校が大きく目標値に達していない。町標準学力調査では、小学校は5・6年の社会以外は全て目標値に達しているが、中学校は国語と中1の数学のみしか目標値に達していない。</p> <p>◆ 令和4年3月に定めた第5次玖珠町学力向上推進計画（R4～R6）において、玖珠町標準学力調査の目標値を上回ることを明記している。小学校で身につけた基礎的な学力を中学校においても継続して伸ばせるようさらに取り組む必要がある。</p>
<p>主要事業： ② 体験的参加型授業・体験活動の充実</p> <p>◆ 社会科見学を始めとして、中学校の職場体験や、支援学級によるまちなか循環バスに乗車する体験など幅広く体験活動を行っている。また、中学校3年生による幼児ふれあい体験など豊かな人間性を育む取り組みを行っており、今後とも継続していく。</p>
<p>主要事業： ③ 日常的な体力づくりの充実</p> <p>◆ 大分県の児童生徒の体力は、全国と比較して高い水準にあるが、R6は中学校男子が全国平均を上回った種目の数が2種目と少なかった。体育専科教員を活用して、魅力ある体育授業等の実践に努めていく。</p>
<p>主要事業： ④ 副読本を用いた各小学校における久留島学習をはじめとする先哲学習の推進</p> <p>◆ 全小学校で久留島武彦副読本を活用した授業を実施した。今後も郷土を愛する心の育成を行っていく。</p>
<p>主要事業： ⑤ 栄養教諭を活用した食に関する指導の充実</p> <p>◆ 森中央小学校の栄養教諭を各学校に招聘し、食に関する指導や食育の授業等の実施方法について助言を行った。食事は健康な体作りの入り口であるため、今後とも継続していく。</p>

令和7年度（令和6年度分）玖珠町教育委員会事務の点検・評価調書

大項目（分野）	I	学校教育	担当所属	義務教育・ 幼児教育班
中項目（方針）	2	特別支援教育の充実		

事務報告

1404.1406

1. 主要事業【計画】

主要事業	① 個別の指導計画の作成と活用の推進 ② 特別支援教育支援員の活用 ③ インクルーシブ教育の推進（同じ場で共に学ぶ）
前年度整理した課題	① ② 支援員のスキルアップを図る。 ③

2. 令和6年度に実施した取組【実行】

主要事業： ① 個別の指導計画の作成と活用の推進
◆ 個別の指導計画の作成
主要事業： ② 特別支援教育支援員の活用
◆ 特別支援教育支援員研修の実施
主要事業： ③ インクルーシブ教育の推進（同じ場で共に学ぶ）
◆ インクルーシブ教育の推進

3. 目標指数の設定【実行】

目標指数	単位	目標値	目標値の設定根拠（数値の年度、割合等）
① 個別の指導計画に基づいた授業改善の実施と校内での還流	校	5	特別支援学級在籍以外で個別の指導計画を必要とする児童生徒の計画作成
② 特別支援教育支援員研修の実施	回	2	年度初め 長期休暇
③ インクルーシブ教育推進校	校	5	特別支援学級が設置されている学校

4. 目標指標の達成度【評価】

目標指数	単位	目標値 a	実績値 b	達成率(%) b/a	達成度	自己評価	総合評価
① 個別の指導計画に基づいた授業改善の実施と校内での還流	校	5	5	100	◎	C	C
② 特別支援教育支援員研修の実施	回	2	1	50	△		
③ インクルーシブ教育推進校	校	5	5	100	◎		

5. 現状認識及び今後の課題【改善】

主要事業： ① 個別の指導計画の作成と活用の推進
◆ 個別の指導計画は、必要な児童生徒について作成され、個別最適な学びの提供のための授業改善が行われている。

主要事業： ② 特別支援教育支援員の活用	
◆	年度当初と夏季休暇中の年2回の開催を予定していたが、夏季休暇中の日程調整ができず、年間1回の開催となった。年度当初開催することは、支援員の役割や支援のあり方を再確認し、子どもの支援にあたることができる。また研修会では他校の支援員と情報交換の場にもなっているため、支援員のスキルアップにもつながっている。次年度は計画的に実施していく必要がある。
主要事業： ③ インクルーシブ教育の推進（同じ場で共に学ぶ）	
◆	特別支援学級が設置されている全学校において、様々な学校教育活動を通じて、同じ場（交流学級）で共に学ぶ機会を持つことができている。

令和7年度（令和6年度分）玖珠町教育委員会事務の点検・評価調査

大項目（分野）	I	学校教育	担当所属	義務教育・ 幼児教育班
中項目（方針）	3	不登校児童生徒の教育環境の整備		

事務報告

1406

1. 主要事業【計画】

主要事業	① 新設校「学びの多様化学校」及びわかくさの広場と町内の各小中学校の連携によるサポート体制の強化 ② 個々に応じた指導方法・教育環境の調査研究、研修の充実
前年度整理した課題	① ー ② 研修の実施

2. 令和6年度に実施した取組【実行】

主要事業： ① 新設校「学びの多様化学校」及びわかくさの広場と町内の各小中学校の連携によるサポート体制の強化
◆ 地域児童生徒支援コーディネーターの活用
主要事業： ② 個々に応じた指導方法・教育環境の調査研究、研修の充実
◆ 学びの多様化学校と小中学校の連携

3. 目標指数の設定【実行】

目標指数	単位	目標値	目標値の設定根拠（数値の年度、割合等）
① 小中連携会議等の定期的な開催	回	10	年間実施回数
② 玖珠町教育相談コーディネーター研修会の実施	回	3	学期に1回

4. 目標指標の達成度【評価】

目標指数	単位	目標値 a	実績値 b	達成率(%) b/a	達成度	自己評価	総合評価
① 小中連携会議等の定期的な開催	回	10	13	130%	◎	D	C
② 玖珠町教育相談コーディネーター研修会の実施	回	3	0	0%	×		

5. 現状認識及び今後の課題【改善】

主要事業： ① 新設校「学びの多様化学校」及びわかくさの広場と町内の各小中学校の連携によるサポート体制の強化
◆ わかくさの広場の定期研修会を実施し、関係する小中学校や地域児童生徒支援コーディネーターとの連携を密にした。また、新たに多様な学び支援協議会を立ち上げ、不登校児童生徒に対する連携した支援策を協議する機会を設けた。教員の負担とならないよう実施内容を工夫し改善していく。
主要事業： ② 個々に応じた指導方法・教育環境の調査研究、研修の充実
◆ 各学校において教育相談コーディネーターが中心となり、児童生徒支援対策プランを作成し、全職員の共通理解のもと、見通しを持った組織的・計画的な児童生徒支援に取り組んでいる。また、いじめ不登校防止委員会を実施し、未然防止と早期発見に向けて校内の研修等を実施している。

令和7年度（令和6年度分）玖珠町教育委員会事務の点検・評価調書

大項目（分野）	I	学校教育	担当所属	義務教育・ 幼児教育班
中項目（方針）	4	地域とともにある学校づくりの推進		

事務報告

1. 主要事業【計画】

主要事業	① 積極的な情報発信 ② 地域の「ひと・もの・こと」を活用した教育活動の推進 ③ 地域学校協働本部（協育コーディネーター）との連携
前年度整理した課題	① - ② - ③ -

2. 令和6年度に実施した取組【実行】

主要事業： ① 積極的な情報発信
◆ 学校ホームページの活用と地域への情報提供
主要事業： ② 地域の「ひと・もの・こと」を活用した教育活動の推進
◆ 地域人材によるゲストティーチャー授業の実施
主要事業： ③ 地域学校協働本部（協育コーディネーター）との連携
◆ 学校運営協議会への地域学校協働活動推進員の参画

3. 目標指数の設定【実行】

目標指数	単位	目標値	目標値の設定根拠（数値の年度、割合等）
① ホームページの更新	校	8	学校ごとに月1回以上の更新
② ゲストティーチャーによる授業	校	8	全学校
③ 地域学校協働活動推進員の参画学校数	校	8	全学校

4. 目標指標の達成度【評価】

目標指数	単位	目標値 a	実績値 b	達成率(%) b/a	達成度	自己評価	総合評価
① ホームページの更新	校	8	8	100%	◎	B	A
② ゲストティーチャーによる授業	校	8	8	100%	◎		
③ 地域学校協働活動推進員の参画学校数	校	8	8	100%	◎		

5. 現状認識及び今後の課題【改善】

主要事業： ① 積極的な情報発信
◆ 学校ごとに頻度は違うが、ホームページや紙面でイベントや日々の学校の様子を積極的に発信している。地域とともにある学校づくりを今後とも推進していく。
主要事業： ② 地域の「ひと・もの・こと」を活用した教育活動の推進
◆ 地域のゲストティーチャーによる授業や、学校行事への支援をしていただいた。
主要事業： ③ 地域学校協働本部（協育コーディネーター）との連携
◆ 協育コーディネーターに学校運営協議会の委員として参加していただき、地域の様々な資源を生かして児童生徒の成長を育てていただいている。

令和7年度（令和6年度分）玖珠町教育委員会事務の点検・評価調査

大項目（分野）	I	学校教育	担当所属	義務教育・ 幼児教育班
中項目（方針）	5	組織的な学校運営体制づくりと教職員の資質・能力の向上		

事務報告

1. 主要事業【計画】

主要事業	① 校内研修をはじめとする各校教職員間の効果的な研修(OJT)の充実 ② 教職員への郷土を学ぶ研修の実施
前年度整理した課題	① ー ② ー

2. 令和6年度に実施した取組【実行】

主要事業： ① 校内研修をはじめとする各校教職員間の効果的な研修(OJT)の充実
◆ 人材育成の校内体制を作り、OJTの実施
主要事業： ② 教職員への郷土を学ぶ研修の実施
◆ 玖珠町の文化・歴史を学ぶフィールドワークの実施

3. 目標指数の設定【実行】

目標指数	単位	目標値	目標値の設定根拠（数値の年度、割合等）
① 人材育成の校内体制を作り、OJTを実施した学校数	校	8	市町村学校組織力向上計画、市町村学力向上アクションプラン
② フィールドワークへの参加	%	90	新採用、玖珠町に初めて赴任した教職員を対象とした研修への参加

4. 目標指標の達成度【評価】

目標指数	単位	目標値 a	実績値 b	達成率(%) b/a	達成度	自己評価	総合評価
① 人材育成の校内体制を作り、OJTを実施した学校数	校	8	8	100%	◎	B	A
② フィールドワークへの参加	%	90	90	100%	◎		

5. 現状認識及び今後の課題【改善】

主要事業： ① 校内研修をはじめとする各校教職員間の効果的な研修(OJT)の充実
◆ 町内の小中学校は中堅職員が少なく、ベテランと若手職員が非常に多い。教職員の指導力向上を図るうえで若手職員の育成は急務であり、授業力向上アドバイザーを活用し授業づくりや生徒との関わり方などを指導する必要がある。教員一人ひとりに寄り添った支援を行う時間の確保が課題である。
主要事業： ② 教職員への郷土を学ぶ研修の実施
◆ 新採用職員を中心とした玖珠町の文化・歴史を学ぶフィールドワークを夏休み期間に実施した。初めて訪れる場所も多く、町内の児童生徒に対する学習の基礎知識を学ぶ場として提供できた。忙しい教員の郷土に触れ合う機会として今後とも継続していく。

令和7年度（令和6年度分）玖珠町教育委員会事務の点検・評価調書

大項目（分野）	I	学校教育	担当所属	義務教育・ 幼児教育班
中項目（方針）	6	学校における働き方改革の推進		

事務報告

1. 主要事業【計画】

主要事業	① ICTを活用した日常における業務改善の取組 ② 部活動の地域移行の推進
前年度整理した課題	① 働き方の見直し ② 地域や関係団体との連携

2. 令和6年度に実施した取組【実行】

主要事業： ① ICTを活用した日常における業務改善の取組
◆ 時間外勤務時間の縮減
主要事業： ② 部活動の地域移行の推進
◆ 社会教育分野との連携

3. 目標指数の設定【実行】

目標指数	単位	目標値	目標値の設定根拠（数値の年度、割合等）
① 時間外勤務時間の縮減	%	5	前年度比5%の縮減
② 推進会議の開催	回	3	

4. 目標指標の達成度【評価】

目標指数	単位	目標値 a	実績値 b	達成率(%) b/a	達成度	自己評価	総合評価
① 時間外勤務時間の縮減	%	5	-7	-140%	×	C	C
② 推進会議の開催	回	3	5	167%	◎		

5. 現状認識及び今後の課題【改善】

主要事業： ① ICTを活用した日常における業務改善の取組
◆ 時間外勤務時間は、小学校7.2%増、中学校6.7%増、全体で6.9%の増となった。昨年度と比較し1月が大幅に増加している。また、校長の時間外勤務時間の増加が目立った。ICTを活用した更なるペーパーレス化や情報共有を進め、教員の負担軽減を図っていく。
主要事業： ② 部活動の地域移行の推進
◆ 玖珠町総合教育審議会の答申を受け、令和7年2月に玖珠町部活動地域展開推進計画を作成した。令和10年度の地域展開完了の目標達成に向けて協議を進める。

令和7年度（令和6年度分）玖珠町教育委員会事務の点検・評価調書

大項目（分野）	I	学校教育	担当所属	義務教育・ 幼児教育班
中項目（方針）	7	学校間・校種間のきめ細やかな連携		

事務報告

1. 主要事業【計画】

主要事業	① 校種間連携組織の構築および日常的な情報共有体制の確立
前年度整理した課題	① 9年間を見通した指導体制の在り方

2. 令和6年度に実施した取組【実行】

主要事業： ① 校種間連携組織の構築および日常的な情報共有体制の確立
◆ 学習指導など課題や認識の共有を図る取り組み

3. 目標指数の設定【実行】

目標指数	単位	目標値	目標値の設定根拠（数値の年度、割合等）
① 中学校教員の小学校1日研修の実施	人	5	市町村学校組織力向上計画
① 小6合同学習・体験授業	回	3	市町村学校組織力向上計画

4. 目標指標の達成度【評価】

目標指数	単位	目標値 a	実績値 b	達成率(%) b/a	達成度	自己評価	総合評価
① 中学校教員の小学校1日研修の実施	人	5	0	0	×	C	C
① 小6合同学習・体験授業	回	3	3	100	◎		

5. 現状認識及び今後の課題【改善】

主要事業： ① 校種間連携組織の構築および日常的な情報共有体制の確立
<p>中学校教員による小学校1日研修は今年度も実施するには至っていない。お互いの教育内容の理解を深め児童生徒への指導力を向上させるためにも今後実施していく必要がある。</p> <p>◆ 小6合同学習・体験授業は実施することができた。中1ギャップを予防するため今後も継続して取り組みを進め、校種間連携を深めていくことが重要である。</p>

令和7年度（令和6年度分）玖珠町教育委員会事務の点検・評価調書

大項目（分野）	I	学校教育	担当所属	教育政策班
中項目（方針）	8	地域の高校への支援と玖珠志学塾の充実		

事務報告

1425

1. 主要事業（目指すべき方向性）【計画】

主要事業	① 公営塾と学校との連携による進路の充実 ② 郡外から就学する生徒への下宿助成
前年度整理した課題	① 塾からの進学実績の向上 ② 定員の充足率が向上してきた中で、制度利用者が多くなることは、よいことなのか。予算関係も含め課題が残る。

2. 令和6年度に実施した取組【実行】

主要事業： ① 公営塾と学校との連携による進路の充実
◆ 玖珠美山高校生を対象とした「玖珠志学塾」を株式会社Birth47に委託し運営を行う
主要事業： ② 郡外から就学する生徒への下宿助成
◆ 郡外から玖珠美山高へ進学しやすい環境を整えるため、町内での下宿を希望する生徒で、部活動や玖珠志学塾利用の者に助成を行う。

3. 目標指数の設定【実行】

目標指数	単位	目標値	目標値の設定根拠（数値の年度、割合等）
① 塾の進学実績	人	15	国公立大学進学実績希望者数
② 制度の利用者数	人	6	各学年2名
共 玖珠美山高校定員	人	120	充足率95%を目指す（定員120人）

4. 目標指標の達成度【評価】

目標指数	単位	目標値 a	実績値 b	達成率(%) b/a	達成度	自己評価	総合評価
① 塾の進学実績	人	15	9	60	△	B	B
② 制度の利用者数	人	6	6	100	◎		
共 玖珠美山高校定員	人	120	114	95	○		

5. 現状認識及び今後の課題【改善】

主要事業： ① 公営塾と学校との連携による進路の充実
◆ 塾からの進学実績を上げ、学校の定員充足率向上を目指す
主要事業： ② 郡外から就学する生徒への下宿助成
◆ 郡外から玖珠美山高校へ進学する生徒への支援制度だが、補助金の継続には安定した財源が必要であり、生徒数増加など制度の効果を定期的に測定し、必要に応じて見直しを行う必要がある。

令和7年度（令和6年度分）玖珠町教育委員会事務の点検・評価調書

大項目（分野）	I	学校教育	担当所属	義務教育・ 幼児教育班
中項目（方針）	9	就学前教育の質の向上と教育環境の整備		

事務報告

1423

1. 主要事業【計画】

主要事業	① 就学前教育と義務教育の虹いろの架け橋協議会の実施 ② 玖珠町架け橋期カリキュラムの実施・検証 ③ 就学前教育にかかる研修及び就学児童を対象とした取組の充実 ④ 関係機関との情報共有と就学前児童及び保護者への相談支援
前年度整理した課題	① 引き続き協議会を開催し、幼小の円滑な接続の推進に努める。 ② 玖珠町架け橋期カリキュラム（5歳児～1年生）の実施に向けた支援と充実に努める。作業部会で学びのつながりシートを作成し、幼小のつながりを見える化していく。 ③ 就学前教育研修会等を開催し、質の向上に努める。 ④ 各園訪問や教育相談会を実施し、就学支援を行う

2. 令和6年度に実施した取組【実行】

主要事業： ① 就学前教育と義務教育の虹いろの架け橋協議会の実施
◆ 開発会議、作業部会を実施する
主要事業： ② 玖珠町架け橋期カリキュラムの実施・検証
◆ 玖珠町架け橋期カリキュラムの実施に向けた支援と学びのつながりシートを作成する
主要事業： ③ 就学前教育にかかる研修及び就学児童を対象とした取組の充実
◆ 就学前教育の質の向上のための研修会及び各園5歳児を対象とした取組を実施する
主要事業： ④ 関係機関との情報共有と就学前児童及び保護者への相談支援
◆ 園訪問や教育相談会を実施し、安心して就学ができるよう関係機関等につなげていく

3. 目標指数の設定【実行】

目標指数	単位	目標値	目標値の設定根拠（数値の年度、割合等）
① 虹いろの架け橋協議会	回	7	実施回数(開発会議・作業部会)
② 玖珠町架け橋期カリキュラムの充実度の割合	%	90	実施アンケートの「とても良かった」の割合
③ 特別支援教育講演会の実施	回	1	実施回数
③ 就学前教育研修会満足度の割合	%	90	研修会の内容についての充実度「とても参考になった」「参考になった」の割合（年3回）
③ 5歳児交流会の実施	回	2	実施回数
③ 5歳児給食体験の実施	園	7	参加園数（全7園）
④ 就学時健康診断と教育相談会	人	84	町内就学予定者の受診率（対象児84名）

4. 目標指標の達成度【評価】

目標指数	単位	目標値 a	実績値 b	達成率(%) b/a	達成度	自己評価	総合評価
① 虹いろの架け橋協議会	回	7	7	100	◎	A	A
② 玖珠町架け橋期カリキュラムの充実度の割合	%	90	47.6	52.9	×		
③ 特別支援教育講演会の実施	回	1	1	100	◎		
③ 就学前教育研修会満足度の割合	%	90	98	108.8	◎		
③ 5歳児交流会の実施	回	2	2	100	◎		
③ 5歳児給食体験の実施	園	7	7	100	◎		
④ 就学時健康診断と教育相談会	人	84	84	100	◎		

5. 現状認識及び今後の課題【改善】

<p>主要事業： ① 就学前教育と義務教育の虹いろの架け橋協議会の実施</p> <p>◆ 会を重ねてきたことで園と小学校が身近な関係になってきている。引き続き幼小の接続の推進に努めていく。</p>
<p>主要事業： ② 玖珠町架け橋期カリキュラムの実施・検証</p> <p>今年度は、学びのつながりについて研修を深め、学びのつながりシートを作成することができた。</p> <p>◆ 次年度からは玖珠町幼小連携会議を開催し、引き続き研修会や公開研を行う。また学びのつながりを共有しカリキュラムの見直しを行い、スムーズな移行となるよう努める。</p>
<p>主要事業： ③ 就学前教育にかかる研修及び就学児童を対象とした取組の充実</p> <p>◆ 幼児教育の質の向上のため研修会を開催している。研修会では各園から実践レポートを出し合って研修することで、自分の保育の振り返りや見直しにつながっている。</p>
<p>主要事業： ④ 関係機関との情報共有と就学前児童及び保護者への相談支援</p> <p>◆ 園訪問や教育相談会を実施している。子どもと保護者が安心して就学を迎えられるよう引き続き保護者に寄り添った相談体制を整えたい。</p>

令和7年度（令和6年度分）玖珠町教育委員会事務の点検・評価調査

大項目（分野）	I	学校教育	担当所属	教育政策班 義務教育・ 幼児教育班
中項目（方針）	10	安全・安心な学校づくり		

事務報告

1. 主要事業【計画】

主要事業	① 危機管理マニュアルの見直しと研修（義） ② 通学路安全点検の実施と危険個所の解消（義） ③ 施設・設備の安全点検の徹底及び整備（政）
前年度整理した課題	① ー ② 関係機関と連携した取組みや安全教育等の実施。 ③ 安全教育の徹底など、学校内での危険個所への取組みの実施。

2. 令和6年度に実施した取組【実行】

主要事業： ① 危機管理マニュアルの見直しと研修（義）
◆ 避難確保計画に基づいた訓練の実施
主要事業： ② 通学路安全点検の実施と危険個所の解消（義）
◆ 通学路安全点検を実施し、改善箇所とその改善対策と実施機関を明確にする
主要事業： ③ 施設・設備の安全点検の徹底及び整備（政）
◆ 学校施設・環境の安全点検の実施と危険個所の解消

3. 目標指数の設定【実行】

目標指数	単位	目標値	目標値の設定根拠（数値の年度、割合等）
① 避難確保計画に基づいた訓練の実施	校	7	要配慮者施設に指定された学校（森幼稚園は休園）
② 点検による危険箇所の改善数	件	53	当該年度の危険箇所の改善・対応数
③ 校内安全点検による対策数	件	29	前年度からの対策箇所の数

4. 目標指標の達成度【評価】

目標指数	単位	目標値 a	実績値 b	達成率(%) b/a	達成度	自己評価	総合評価
① 避難確保計画に基づいた訓練の実施	校	7	6	86%	○	B	B
② 点検による危険箇所の改善数	件	53	53	100	◎		
③ 校内安全点検による対策数	件	29	29	100	◎		

5. 現状認識及び今後の課題【改善】

主要事業： ① 危機管理マニュアルの見直しと研修（義）
◆ 危機管理マニュアルは全校で作成済み。避難確保計画は対象区域外である北山田小学校を除き、くす若草小中学校が未作成のため、今後作成する必要がある。避難訓練は消防計画に基づき全校で実施している。

<p>主要事業： ② 通学路安全点検の実施と危険個所の解消（義）</p>
<p>◆ 令和6年8月23日に関係機関との連携により合同点検会議を実施した。可能なものから速やかに解消しているが、予算や長期計画を伴うものなどの解消が課題。引き続き通学路の更なる安全確保に向けて継続していく。</p>
<p>主要事業： ③ 施設・設備の安全点検の徹底及び整備（政）</p>
<p>◆ 施設の老朽化に伴い、点検結果において指摘事項が増えており、緊急性の判断が必要である。安全教育の徹底など、学校内での危険個所への取り組みも重要である。</p>

令和7年度（令和6年度分）玖珠町教育委員会事務の点検・評価調書

大項目（分野）	I	学校教育	担当所属	GIGAスクール推進室
中項目（方針）	11	ICTを活用した教育の推進		
			事務報告	1420.1421

1. 主要事業【計画】

主要事業	① ICTを活用した授業の充実 ② 児童生徒の情報活用能力の向上 ③ 家庭学習での通信端末の活用
前年度整理した課題	① ICTを活用するための基礎的な能力の育成 ② ジュニアICTリーダー事業の実施 ③ オンライン授業等での活用

2. 令和6年度に実施した取組【実行】

主要事業： ① ICTを活用した授業の充実
◆ デジタル教材を利用した授業の実施
主要事業： ② 児童生徒の情報活用能力の向上
◆ ジュニアICTリーダー事業の実施
主要事業： ③ 家庭学習での通信端末の活用
◆ 通信端末を使用した家庭学習やオンライン授業等の実施

3. 目標指数の設定【実行】

目標指数	単位	目標値	目標値の設定根拠（数値の年度、割合等）
① デジタル教材を利用した授業実施学校数	校	8	デジタル教材を利用した授業実施学校数
② ジュニアICTリーダー研修回数	回	3	ジュニアICTリーダー研修回数
③ オンライン授業実施学校数	校	8	オンライン授業実施学校数

4. 目標指標の達成度【評価】

目標指数	単位	目標値 a	実績値 b	達成率(%) b/a	達成度	自己評価	総合評価
① デジタル教材を利用した授業実施学校数	校	8	8	100	◎	A	A
② ジュニアICTリーダー研修回数	回	3	3	100	◎		
③ オンライン授業実施学校数	校	8	8	100	◎		

5. 現状認識及び今後の課題【改善】

主要事業： ① ICTを活用した授業の充実
◆ リーディングDX事業の指定校を中心に取り組みを行っている。ICTを活用するための基礎的な能力の育成を行い、児童生徒が自律的にICTを活用して学びあう姿を目指す。
主要事業： ② 児童生徒の情報活用能力の向上
◆ ジュニアICTリーダーサミット2024にて、くす星翔中が優秀プレゼンテーション部門にて最高賞の金賞を受賞した。今後も継続して取り組む。
主要事業： ③ 家庭学習での通信端末の活用
◆ 端末を持ち帰り、臨時休校時などオンライン授業等で活用できた。今後も家庭学習での活用を推進していく。

令和7年度（令和6年度分）玖珠町教育委員会事務の点検・評価調書

大項目（分野）	I	学校教育	担当所属	給食センター
中項目（方針）	12	安全・安心な学校給食の提供と地産地消・食育の推進		

事務報告 1428~1432

1. 主要事業【計画】

主要事業	① 郷土愛を育む地産地消の推進 ② 新鮮で安全・安心な食材確保 ③ 調理施設・設備・備品等の計画的な整備 ④ 調理業務の民間委託の推進
前年度整理した課題	① 食育授業の開催数 ② ー ③ ー ④ 委託業者を選定し、スムーズな業務引継ぎが必要

2. 令和6年度に実施した取組【実行】

主要事業： ① 郷土愛を育む地産地消の推進
◆ 食育授業の開催
主要事業： ② 新鮮で安全・安心な食材確保
◆ 玖珠産の野菜等の活用拡大
主要事業： ③ 調理施設・設備・備品等の計画的な整備
◆ 給食配送車1台の更新
主要事業： ④ 調理業務の民間委託の推進
◆ 調理業務委託業者の選定と調理業務の引継ぎ

3. 目標指数の設定【実行】

目標指数	単位	目標値	目標値の設定根拠（数値の年度、割合等）
① 食育授業の開催数	校	2	玖珠産米と久留島流すき焼きに関する授業を実施する
② 玖珠産野菜等の活用拡大	品目	12	前年度利用した品目数以上の活用
③ 調理設備・備品等の整備	台	1	給食配送車1台の更新
④ 調理業務委託業者の選定と業務引継ぎ	%	100	委託業者の選定を行い、調理業務の引継ぎ、民間委託実施の準備

4. 目標指標の達成度【評価】

目標指数	単位	目標値 a	実績値 b	達成率(%) b/a	達成度	自己評価	総合評価
① 食育授業の開催数	校	2	2	100	◎	A	A
② 玖珠産野菜等の活用拡大	品目	12	12	100	◎		
③ 調理設備・備品等の整備	台	1	1	100	◎		
④ 調理業務委託業者の選定と業務引継ぎ	%	100	90	90	○		

5. 現状認識及び今後の課題【改善】

主要事業： ① 郷土愛を育む地産地消の推進
◆ 食育授業の実施及び玖珠産の食材の活用を行った。今後も継続して取り組む。
主要事業： ② 新鮮で安全・安心な食材確保
◆ 新鮮で安全・安心な玖珠産食材の活用を行った。新たな玖珠産の活用を検討し活用拡大を目指す、安定的な食材量の確保が課題。
主要事業： ③ 調理施設・設備・備品等の計画的な整備
◆ 給食配送車1台を更新した。今後も計画的な整備に取り組む。
主要事業： ④ 調理業務の民間委託の推進
◆ 調理業務委託業者の選定を行い、業務引継ぎを行うと伴に民間委託実施のため設備整備・備品購入を行った。令和7年度は業務委託1年目となるので、委託業者との調整を行いながら、安定的な学校給食の提供に取り組む。

令和7年度（令和6年度分）玖珠町教育委員会事務の点検・評価調査

大項目（分野）	Ⅱ	社会教育	担当所属	社会教育班 公民館班
中項目（方針）	1	地域教育力の向上		

事務報告

1506.1507

1. 主要事業【計画】

主要事業	① 主催講座の開催（公） ② 学校・家庭・地域による「学びの未来」創造事業（社） ③ 世代に応じた各種学習活動の支援（公）
前年度整理した課題	① 従来にとらわれない多様な講座を計画する（公） ② 支援者数の確保（社） ③ 高齢者向けの講座は定着しているが、子ども向け、一般向けの講座の充実（公） ③ 夏休み期間中の学習ルームの充実（公）

2. 令和6年度に実施した取組【実行】

主要事業： ① 主催講座の開催（公）
◆ 主催講座を実施する。
主要事業： ② 学校・家庭・地域による「学びの未来」創造事業（社）
◆ 学校の要望を受け、適切な支援ができるよう、関係者間の調整を行う。
◆ 学校での取り組みを町報に掲載し、情報発信することで支援者の増加を図る。
主要事業： ③ 世代に応じた各種学習活動の支援（公）
◆ 子ども向け、一般向けの講座を実施する。
◆ 年間を通じた図書室や休憩コーナーの学習環境の確保。夏休み期間中の学習ルームの充実。

3. 目標指数の設定【実行】

目標指数	単位	目標値	目標値の設定根拠（数値の年度、割合等）
① 主催講座の種類（公）	種類	3	高齢者講座、こども講座、一般講座
② 支援者数（社）	延べ人数	1,000	令和4年度実績から120%を目指す（令和5年度未達）
③ こども講座、一般講座（公）	回数	5	こども講座：2回、一般向け講座：3回（令和6年度実績）
③ 学習ルーム利用者数（公）	人数	86	令和5年度実績（72人*利用者カード確認数）の120%

4. 目標指標の達成度【評価】

目標指数	単位	目標値 a	実績値 b	達成率(%) b/a	達成度	自己評価	総合評価
① 主催講座の種類（公）	種類	3	3	100	◎	B	B
② 支援者数（社）	延べ人数	1,000	1,103	110.3	◎		
③ こども講座、一般講座（公）	回数	5	4	80	○		
③ 学習ルーム利用者数（公）	人数	86	146	170	◎		

5. 現状認識及び今後の課題【改善】

主要事業： ① 主催講座の開催（公）
◆ 講座の内容は毎年、毎回検証する必要がある。目標指数を主催講座の数としているため数のカウントには入らないが、社会教育班、教育政策課と共催した「家庭教育講演会」、玖珠町歴史学級と共催した「くすまち公民館フェスティバル公開講座」は、充実した内容の取り組みができた。（公）
主要事業： ② 学校・家庭・地域による「学びの未来」創造事業（社）
◆ 各学校での活動数が安定したことと、くす若草小中学校での学校支援が開始されたことで、支援者が増加したと思われる。チャレンジ教室については、学校によっては支援者数が少なく活動に影響が出る可能性があるため、今後も広報等で支援者の募集を行っていく。
主要事業： ③ 世代に応じた各種学習活動の支援（公）
◆ 高齢者向けの講座は定着している。これまで座学のいわゆる講座が主であったが、3回作品創作に取り組んだ。得手不得手ある中で、新たな趣味の発見に繋がってもらいたい。こども講座は夏休み期間のみの開催となった。高齢者学級は、今年度八幡地区からの申し込みがなかった。夏休み期間中の平日に2階視聴覚室を「学習ルーム」として開放した。Wi-fiを使える環境であることが広まったせいか、昨年の72人から倍増146人の利用があった。更なる周知を広げていきたい。夏休み期間以外も休憩コーナーや図書室を学習の場として定着させていきたい。（公）

令和7年度（令和6年度分）玖珠町教育委員会事務の点検・評価調書

大項目（分野）	Ⅱ	社会教育	担当所属	社会教育班
中項目（方針）	2	子どもと大人 家庭と地域での教育		

事務報告 1504.1505

1. 主要事業【計画】

主要事業	① 青少年健全育成協議会への支援 ② 家庭教育に関する事業の実施 ③ コミュニティ・スクール（学校運営協議会）との連携
前年度整理した課題	① 「育成協だより」の発行 ② 家庭教育講演会の内容、実施方法の工夫 ③ -

2. 令和6年度に実施した取組【実行】

主要事業： ① 青少年健全育成協議会への支援
◆ 町青少年健全育成大会の実施 ◆ 7地区の健全育成協議会への支援 ◆ 家庭教育講演会の実施
主要事業： ② 家庭教育に関する事業の実施
◆ 各学校、PTA等との情報共有を行い、ニーズに沿った家庭教育講演会を実施する。
主要事業： ③ コミュニティ・スクール（学校運営協議会）との連携
◆ 協育コーディネーターが学校運営協議会と関わることで、必要な支援を行う。

3. 目標指数の設定【実行】

目標指数	単位	目標値	目標値の設定根拠（数値の年度、割合等）
① 町青少年健全育成推進大会参加者	名	300	令和元年度実施の大会参加者210人
① 「育成協だより」の発行数	回	2	各地区の特徴的な取り組み回、大会報告回
② 家庭教育講演会参加者	名	68	令和4年度実績の200%（令和5年度未達）
③ 学校運営協議会への参加	校	8	学校運営協議会を設置しているすべての学校

4. 目標指標の達成度【評価】

目標指数	単位	目標値 a	実績値 b	達成率(%) b/a	達成度	自己評価	総合評価
① 町青少年健全育成推進大会参加者	名	300	209	69.7	△	C	C
① 「育成協だより」の発行数	回	2	1	50.0	×		
② 家庭教育講演会参加者	名	68	65	95.6	○		
③ 学校運営協議会への参加	校	8	8	100.0	◎		

5. 現状認識及び今後の課題【改善】

主要事業： ① 青少年健全育成協議会への支援
◆ 青少年健全育成推進大会の来場者数は、昨年と同数程度となった。町内小中高校の児童生徒の発表の場としても定着してきており、今後も引き続き開催していく。育成協だよりは大会報告回1回のみとなった。各地区育成協役員会議では、役員から活動提案があるなど、活発な意見交換が行われている。
主要事業： ② 家庭教育に関する事業の実施
◆ 今年度は教育政策課との共催を含む2回の講演会が実施できた（実績には平均値を記載）。今後は家庭教育に関するニーズの把握にも努め、子育て支援担当課と連携するなど柔軟に対応していきたい。
主要事業： ③ コミュニティ・スクール（学校運営協議会）との連携
◆ くす若草小中学校運営協議会にも協育コーディネーターが参画することができている。今後も引き続き連携することで、必要な支援を行っていく。

令和7年度（令和6年度分）玖珠町教育委員会事務の点検・評価調書

大項目（分野）	Ⅱ	社会教育	担当所属	社会教育班
中項目（方針）	3	生涯にわたるスポーツ・レクリエーションの推進		

事務報告 1510～1526

1. 主要事業【計画】

主要事業	① スポーツ団体、サークル活動の充実 ② 住民参加型のスポーツイベントの実施
前年度整理した課題	① スポーツ団体、サークル活動団体数の維持 ② 誰でも参加しやすいスポーツイベントの開催

2. 令和6年度に実施した取組【実行】

主要事業： ① スポーツ団体、サークル活動の充実
◆ スポーツ団体、サークル活動に対する情報発信の充実
主要事業： ② 住民参加型のスポーツイベントの実施
◆ リレーマラソン、すこやかスポーツ祭、町民スポーツ大会、軽スポーツ大会

3. 目標指数の設定【実行】

目標指数	単位	目標値	目標値の設定根拠（数値の年度、割合等）
① 魅力ある団体活動の充実	団	7	少年団6+総合型地域スポーツクラブ1（令和5年度未達）
② 参加しやすいイベントの開催	人	900	リレーマラソン、すこやかスポーツ祭、町民スポーツ大会、軽スポーツ大会（令和5年度未達）

4. 目標指標の達成度【評価】

目標指数	単位	目標値 a	実績値 b	達成率(%) b/a	達成度	自己評価	総合評価
① 魅力ある団体活動の充実	団	7	7	100	◎	B	B
② 参加しやすいイベントの開催	人	900	800	89	○		

5. 現状認識及び今後の課題【改善】

主要事業： ① スポーツ団体、サークル活動の充実
◆ スポーツ少年団においては、団員数は昨年とほぼ変わらず、団数に関しても現状維持できている。 総合型スポーツクラブにおいては、昨年より1教室増加し、今後も充実した活動の場を提供できるクラブを持続する。
主要事業： ② 住民参加型のスポーツイベントの実施
◆ 今年度は軽スポーツ大会として、ニュースポーツのモルック大会を行なった。参加者からも好評で今後も継続して開催する。

令和7年度（令和6年度分）玖珠町教育委員会事務の点検・評価調書

大項目（分野）	Ⅱ	社会教育	担当所属	社会教育班 わらべの館 久留島武彦記念館
中項目（方針）	4	久留島武彦精神を継承する取組の充実		

事務報告 1504.1505
1602~1604
1701~1706

1. 主要事業【計画】

主要事業	① 第75回日本童話祭の開催（社） ② 久留島武彦顕彰全国語りべ大会の開催（社） ③ 久留島武彦顕彰全国児童生徒俳句大会の開催（わ） ④ 久留島武彦童話賞子ども創作童話コンクールの開催（久） ⑤ 小中学校をはじめとする久留島学習の場の提供（久） ⑥ 久留島武彦記念館による調査・資料収集・研究・企画展示・情報発信（久） ⑦ わらべサークル協議会への支援及び児童文化の担い手の育成（わ） ⑧ 久留島武彦生誕150年記念イベントの推進と意識高揚（久）
前年度整理した課題	① 見直し可能な行事の検討（社） ② 大会開催方法、学校との連携（社） ③ 俳句の質の向上（わ） ④ ⑤ ⑥ ⑦ 後継者を育成するために、各団体の活動内容を広報する（わ） ⑧

2. 令和6年度に実施した取組【実行】

主要事業： ① 第75回日本童話祭の開催（社）
◆ 久留島武彦生誕150年記念として、150年にちなんだ事業実施を行う。
主要事業： ② 久留島武彦顕彰全国語りべ大会の開催（社）
◆ 通常大会の実施方法に戻し、集客を図る。
主要事業： ③ 久留島武彦顕彰全国児童生徒俳句大会の開催（わ）
◆ 俳句出前授業の開催
主要事業： ④ 久留島武彦童話賞子ども創作童話コンクールの開催（久）
◆ 町内の小・中・高等学校を周り、作品の応募を呼びかける。
◆ 公募ガイド等の雑誌、サイトを活用し募集を呼びかける。
主要事業： ⑤ 小中学校をはじめとする久留島学習の場の提供（久）
◆ 久留島武彦副読本を町内小学校新4年生及び転入してきた教員へ配布し、学びを深めてもらう。
主要事業： ⑥ 久留島武彦記念館による調査・資料収集・研究・企画展示・情報発信（久）
◆ 企画展やイベントの際、マスコミに積極的に発信し、取り上げてもらい記念館をアピールする。

主要事業： ⑦ わらべサークル協議会への支援及び児童文化の担い手の育成（わ）
◆ わらべサークル協議会と共催で行事を企画運営する
◆ 各サークルの活動紹介
主要事業： ⑧ 久留島武彦生誕150年記念イベントの推進と意識高揚（久）
◆ 生誕150年の節目の年に様々な企画展及びイベントを開催する。

3. 目標指数の設定【実行】

目標指数	単位	目標値	目標値の設定根拠（数値の年度、割合等）
① 童話祭式参加者数（社）	名	500	令和5年度童話祭式参加者数
② 語りべ大会町内応募者数（社）	名	6	過去大会の平均（一般1名、小学生2名）×200%
② 語りべ大会来場者数（社）	名	251	各種団体からの参加見込み
③ 俳句出前授業の開催（わ）	回	1	俳句教室
④ 創作童話コンクール応募作品数（久）	作	158	過去3年度の応募作品数の平均値
⑤ 副読本の活用（久）	部	143	小学4年生及び転入教員への配布数
⑥ メディア紹介数（久）	回	75	令和5年度メディア掲載数
⑦ 共催行事の企画運営（わ）	回	2	主要行事：2（こどもフェス・新春こどもまつり）
⑦ 各サークルの活動紹介（わ）	回	1	活動内容のHP掲載・パネル展示
⑧ 企画展、イベント数（久）	回	10	

4. 目標指標の達成度【評価】

目標指数	単位	目標値 a	実績値 b	達成率(%) b/a	達成度	自己評価	総合評価
① 童話祭式参加者数（社）	名	500	500	100.0	◎	B	B
② 語りべ大会町内応募者数（社）	名	6	1	16.7	×		
② 語りべ大会来場者数（社）	名	251	110	43.8	×		
③ 俳句出前授業の開催（わ）	回	1	1	100	◎		
④ 創作童話コンクール応募作品数（久）	作	158	41	26	×		
⑤ 副読本の活用（久）	部	143	143	100	◎		
⑥ メディア紹介数（久）	回	75	90	120	◎		
⑦ 共催行事の企画運営（わ）	回	2	2	100	◎		
⑦ 各サークルの活動紹介（わ）	回	1	1	100	◎		
⑧ 企画展、イベント数（久）	回	10	16	160	◎		

5. 現状認識及び今後の課題【改善】

<p>主要事業： ① 第75回日本童話祭の開催（社）</p> <p>◆ 前年度の語りべ大会における久留島武彦賞受賞者2名を招待し、童話碑前で語りを披露してもらった。久留島武彦生誕150年という記念の年に当時の趣を感じられる式典が開催され、来場者からの評判も良かった。式典については、日本童話祭、また久留島武彦について学びを深める機会として開催していきたい。</p>
<p>主要事業： ② 久留島武彦顕彰全国語りべ大会の開催（社）</p> <p>◆ 応募者数、来場者数ともに目標を下回った。特に、町内応募者数については一般1名のみとなり、小学生の応募はなかった。例年、小学生でも参加しやすい8月（夏休み中）に大会を実施していたが、町内小学生からの応募に関しては小学校との連携を考え、開催時期の検討が必要である。</p>
<p>主要事業： ③ 久留島武彦顕彰全国児童生徒俳句大会の開催（わ）</p> <p>◆ さらなる児童生徒の俳句文化の向上を目指す。（わ）</p>
<p>主要事業： ④ 久留島武彦童話賞子ども創作童話コンクールの開催（久）</p> <p>◆ 前回より大幅に応募が減少した。しかし、応募サイトに掲載したことから全国からの応募が増加した。引き続き町内の学校（小中高）に積極的に取り組んでもらえるよう学校と連携していく。</p>
<p>主要事業： ⑤ 小中学校をはじめとする久留島学習の場の提供（久）</p> <p>◆ 副読本を活用しての学習により久留島武彦に対する知識は深まっている</p>
<p>主要事業： ⑥ 久留島武彦記念館による調査・資料収集・研究・企画展示・情報発信（久）</p> <p>◆ 久留島武彦生誕150年で町内外にその功績を幅広く発信するため様々なPRを実施した。今後も館長の講演会やメディアの掲載等で久留島武彦記念館についての情報発信を幅広く伝えていく。</p>
<p>主要事業： ⑦ わらべサークル協議会への支援及び児童文化の担い手の育成（わ）</p> <p>◆ 今年度は、特にわらべの館開館40周年記念事業としてプロ劇団による公演を行い、わらべサークル協議会の支援に努め、多くの集客につなげた。引き続き「久留島武彦精神」を継承し、わらべサークル協議会への支援に取り組む必要がある。</p> <p>◆ 現状としては、団員の若返りや新規サークルの活動にはつながっていない。児童文化活動の魅力がうまく認知されていない現状もあるので、昨年度作成した結成40周年記念誌をもとに、パネル展を開催し、取り組みの周知をすすめるとともに、より魅力的な人材育成の取り組みを通して、児童文化の担い手を発掘・支援・育成していく必要がある。</p>
<p>主要事業： ⑧ 久留島武彦生誕150年記念イベントの推進と意識高揚（久）</p> <p>◆ 久留島武彦と関連する人物を取り上げた企画展など6回、生誕祭やくるしま寄席などのイベント・特別展を10回開催した。今後も引き続き久留島武彦記念館が文化拠点としての役割を強化し、来館者にとってより魅力的な施設となるよう努める。</p>

令和7年度（令和6年度分）玖珠町教育委員会事務の点検・評価調書

大項目（分野）	Ⅱ	社会教育	担当所属	社会教育班 公民館班 久留島武彦記念館
中項目（方針）	5	文化の創造と振興		

事務報告 1505.1522.
1523.1702.
1703

1. 主要事業【計画】

主要事業	① 巡回音楽会の開催（社） ② 文化芸術活動を促進するための公民館フェスティバルの開催（公） ③ 久留島武彦記念館による企画展の開催（久） ④ 文化芸術に触れる機会の提供（公）（久） ⑤ 自主文化芸術活動の支援（社）
前年度整理した課題	① 子どもたちに一流の芸術文化を鑑賞する機会を継続して実施する。（社） ② 舞台部門と展示部門の開催日の変更。展示部門の期間を延長し、多くの町民へ鑑賞する機会を提供する。（公） ③ ④ 「公民館フェスティバル」「玖珠町文化祭」の展示期間を延長し、多くの町民へ鑑賞する機会を提供する。（公） ⑤ くすまち文化祭（玖珠町文化振興会主催）への支援を継続する。（社）

2. 令和6年度に実施した取組【実行】

主要事業： ① 巡回音楽会の開催（社）
◆ 声楽家による公演のため、くすまちメルサンホールで実施する。
主要事業： ② 文化芸術活動を促進するための公民館フェスティバルの開催（公）
◆ 開催日程の変更。令和5年度に初めて取り組んだ福祉団体の出展、作品展示を引き続き行う。
主要事業： ③ 久留島武彦記念館による企画展の開催（久）
◆ 生誕150年であるため久留島武彦にスポットを当てた企画展を開催する。
主要事業： ④ 文化芸術に触れる機会の提供（公）（久）
◆ 前年周知が出来なかった「玖珠町文化祭」の作品募集を広報に掲載する。（公）
主要事業： ⑤ 自主文化芸術活動の支援（社）
◆ 公民館とともに、町民の芸術活動・自主文化活動の発表の場を提供する。

3. 目標指数の設定【実行】

目標指数	単位	目標値	目標値の設定根拠（数値の年度、割合等）
① 巡回音楽会公演数（社）	回	4	2日間で4回公演
② 福祉団体からの作品出展（公）	団体	1	令和5年度実績：1団体
③ 入館者数（久）	人	5,375	過去3年の入館者数平均値
④ 展示期間（公）	日数	27	令和5年度実績公民館フェスティバル：25日間、 玖珠町文化祭：2日間
⑤ 展示会の実施（社）	回	1	令和5年度実績

4. 目標指標の達成度【評価】

目標指数	単位	目標値 a	実績値 b	達成率(%) b/a	達成度	自己評価	総合評価
① 巡回音楽会公演数（社）	回	4	4	100.0	◎	A	A
② 福祉団体からの作品出展（公）	団体	1	2	200	◎		
③ 入館者数（久）	人	5,375	5,895	109	◎		
④ 展示期間（公）	日数	27	29	107	◎		
⑤ 展示会の実施（社）	回	1	2	200.0	◎		

5. 現状認識及び今後の課題【改善】

<p>主要事業： ① 巡回音楽会の開催（社）</p> <p>◆ 今年度は声楽家による音楽会だったため、くすまちメルサンホールに集合してもらう形での実施となった。終了後、演者に児童生徒の感想を送る機会があったが、声の響きや美しさ、声量に感動した声が多かった。今後も子どもたちが一流の芸術文化に触れる場を創出するため、継続して実施していきたい。</p>
<p>主要事業： ② 文化芸術活動を促進するための公民館フェスティバルの開催（公）</p> <p>◆ 福祉事業所を中心としたマルシェコーナー（軽食コーナー）を設置して2年目、認知度が上がってきた。舞台部門の本番発表日と展示部門の開始日をずらすことで、窮屈だった準備は昨年度よりはるかに改善された。展示期間は29日間としたが、長机を多量使用することから、他の公民館の貸館業務に影響が出ることが分かった。エリアを縮小し展示期間中に展示替えを行うなどの工夫をすることで、公民館運営全体の課題解決を図りたい。（公）</p>
<p>主要事業： ③ 久留島武彦記念館による企画展の開催（久）</p> <p>◆ 久留島武彦生誕150年に久留島先生と関連する人物を取り上げた企画展など6回とイベント・特別展を展開し、来館者は増加した。引き続き魅力ある企画展を開催し、来館者の増加を目指していく。</p>
<p>主要事業： ④ 文化芸術に触れる機会の提供（公）（久）</p> <p>◆ 「公民館フェスティバル等の町民が出品する作品展の展示期間を長くする」と課題を挙げ、くすまち文化祭は5日間、くすまち公民館フェスティバルは29日間の作品展示を行ったが、長机を多量使用することから会議室利用等の公民館運営に支障をきたすことが分かった。展示期間、方法、長機の代替になるものなど、あらゆる方面から検証が必要である。（公）</p>
<p>主要事業： ⑤ 自主文化芸術活動の支援（社）</p> <p>◆ 今年度も公民館フェスティバル展示部門と連携し、長期間展示を実施できた。来館者が多い時期と重なったため、1階2階ともたくさんの方が来場していた。また、文化振興会主催「くすまち文化祭」に共催し、バックアップすることができた。</p>

令和7年度（令和6年度分）玖珠町教育委員会事務の点検・評価調書

大項目（分野）	Ⅱ	社会教育	担当所属	社会教育班
中項目（方針）	6	地域にある文化財の保存と活用の推進		

事務報告 1507～1510

1. 主要事業【計画】

主要事業	① 文化財保護（保存・活用）の推進 ② 国指定文化財の保存整備 ③ 各小中学校の郷土教育の支援
前年度整理した課題	① 伐株山城跡現地説明会の実施 ② 角牟礼城跡の本丸跡北側石垣の解体工事 ③ 旧久留島氏庭園の整備の計画、清水御茶屋の調査

2. 令和6年度に実施した取組【実行】

主要事業： ① 文化財保護（保存・活用）の推進
◆ 伐株山城跡の町指定文化財に向けた検討、無形民俗文化財の記録・保存
主要事業： ② 国指定文化財の保存整備
◆ 角牟礼城跡本丸北側石垣の解体修復工事及び旧久留島氏庭園環境整備事業の実施
主要事業： ③ 各小中学校の郷土教育の支援
◆ 文化財に直接触れることができる体験メニューの実施

3. 目標指数の設定【実行】

目標指数	単位	目標値	目標値の設定根拠（数値の年度、割合等）
① 指定文化財の検討	%	100	文化財保護審議委員会での検討及び地元説明の実施
① 無形民俗文化財の記録・保存	団体	1	町指定無形民俗文化財の記録・保存
② 石垣工事及び環境整備事業	%	100	工事及び環境整備事業の進捗
③ 郷土教育の支援	回	5	出張講座の開催回数

4. 目標指標の達成度【評価】

目標指数	単位	目標値 a	実績値 b	達成率(%) b/a	達成度	自己評価	総合評価
① 指定文化財の検討	%	100	0	0.0	×	C	C
① 無形民俗文化財の記録・保存	団体	1	1	100.0	◎		
② 石垣工事及び環境整備事業	%	100	100	100.0	◎		
③ 郷土教育の支援	回	5	3	60.0	△		

5. 現状認識及び今後の課題【改善】

主要事業： ① 文化財保護（保存・活用）の推進
伐株山城跡の文化財指定については、文化財保護審議会において話題にのぼったものの、具体的な方針を検討するには至らなかった。 ◆ 童話碑については、日本童話祭式典の中で町指定文化財として認定式を行い、会場内で童話碑について説明するチラシを配布した。 また、岩室楽について記録資料（映像）を作成することができた。
主要事業： ② 国指定文化財の保存整備
◆ 角牟礼城跡本丸北側解体工事3期目が終了した。引き続き、解体、修復に向けて取り組む。 また、旧久留島氏庭園整備基本計画に基づき、丸木御門周辺の植栽整備を実施した。
主要事業： ③ 各小中学校の郷土教育の支援
◆ 町内小中学校に出向き、総合学習等の時間に郷土の歴史や文化財について授業を行った。今後も継続して実施していく。

令和7年度（令和6年度分）玖珠町教育委員会事務の点検・評価調書

大項目（分野）	Ⅱ	社会教育	担当所属	公民館班 わらべの館
中項目（方針）	7	生涯学習を保障する図書館サービス網の充実		

事務報告 1606~1608

1. 主要事業【計画】

主要事業	① わらべの館の図書の実充（わ） ② 中央公民館図書室の実充と利用者の拡大（公） ③ わらべの館児童図書室と中央公民館図書室の連携（公）（わ） ④ わらべの館移動図書館車の活用（わ）
前年度整理した課題	① 読書ニーズの積極的な対応（わ） ② 企画コーナーの設置（公） ③ 両施設の図書室で図書の貸し借りができることから回送本が多く発生している。役割者について検討する。（公） ③ 魅力ある図書室づくりの連携（わ） ④ 読書ニーズの積極的な対応（わ）

2. 令和6年度に実施した取組【実行】

主要事業： ① わらべの館の図書の実充（わ）
◆ 社会の流れや利用者ニーズに沿ったテーマ展示
主要事業： ② 中央公民館図書室の実充と利用者の拡大（公）
◆ 企画コーナーの設置を行い、施設利用者の図書への関心を高め、貸出冊数増に努める。
主要事業： ③ わらべの館児童図書室と中央公民館図書室の連携（公）（わ）
◆ 図書利用者のために、正規職員、会計年度職員に囚われず、回送本の集配を行う。（公）
◆ 両館の図書貸出冊数の増を図る（わ）
主要事業： ④ わらべの館移動図書館車の活用（わ）
◆ 新規ステーションの増

3. 目標指数の設定【実行】

目標指数	単位	目標値	目標値の設定根拠（数値の年度、割合等）
① テーマ展示（わ）	回	30	令和5年度特集数参考
② 貸出冊数（公）	冊	2,529	令和5年度実績（過去最高数）
③ 回送本溜め置き数（公）	冊	10	※目標設定が困難であるが、2桁の冊数を抱えないようにしたい
③ 両館の合計貸出冊数	冊	50,000	令和5年度貸出冊数参考
④ 新規ステーションの増（わ）	箇所	1	

4. 目標指標の達成度【評価】

目標指数	単位	目標値 a	実績値 b	達成率(%) b/a	達成度	自己評価	総合評価
① テーマ展示（わ）	回	30	30	100	◎	B	A
② 貸出冊数（公）	冊	2529	2,529	100	◎		
③ 回送本溜め置き数（公）	冊	10	10	100	◎		
③ 両館の合計貸出冊数	冊	50,000	54,850	109.2	◎		
④ 新規ステーションの増（わ）	箇所	1	0	0	×		

5. 現状認識及び今後の課題【改善】

<p>主要事業： ① わらべの館の図書の充実（わ）</p> <p>利用者からも、好評をいただいております。図書室利用者の満足度は非常に高い。</p> <p>◆ 今後も、システムを共有する中央公民館図書室との連携を充実するとともに、県立図書館や県内図書館との相互協力を図り、利用者ニーズに積極的にこたえていく。</p>
<p>主要事業： ② 中央公民館図書室の充実と利用者の拡大（公）</p> <p>久留島武彦生誕150年企画などを実施した。また、書棚を図書室内に増設し、図書室内の整理を行うことができた。また、中高生の利用が多いことから、本の選書についても、わらべの館の全面的な協力を得て、限られた予算内で本を追加することができた。（公）</p>
<p>主要事業： ③ わらべの館児童図書室と中央公民館図書室の連携（公）（わ）</p> <p>◆ 図書システムを一本化し、各図書室の蔵書が借りられることから、本の移動（回送）が多く発生している。図書利用者へのサービスの向上のため、公民館配置の会計年度任用職員職員等が直接届ける対応を取っていきたい。他の図書館から借り入れる相互貸借など、図書の活用についてわらべの館と更なる連携を深めていく。（公）</p> <p>◆ 中央公民館図書室のシステム化により、図書サービスの利便性が向上して、利用者からも好評を得ている。それぞれの特性を活かした利用しやすい図書室づくりをさらに連携して進める。（わ）</p>
<p>主要事業： ④ わらべの館移動図書館車の活用（わ）</p> <p>◆ 老人福祉施設や学校、こども園、放課後児童クラブなどの施設を中心に27のステーションを配置。新規のステーションはなかったが、利用者からは好評を得ており、今後ステーションを新設する運行スケジュールは限定されるが、僻地を中心に新たな読書ニーズの掘り起こしをしたい。</p>

令和7年度（令和6年度分）玖珠町教育委員会事務の点検・評価調書

大項目（分野）	Ⅲ	人権教育	担当所属	義務教育・ 幼児教育班
中項目（方針）	1	学校教育における人権教育の充実		

事務報告

1410

1. 主要事業【計画】

主要事業	① 児童生徒への部落差別解消に向けた人権教育の指導及び啓発活動の推進 ② 部落差別解消に向けた教職員研修の実施
前年度整理した課題	① ー ② ー

2. 令和6年度に実施した取組【実行】

主要事業： ① 児童生徒への部落差別解消に向けた人権教育の指導及び啓発活動の推進
◆ 人権教育に係る年間指導計画の作成及び実施
主要事業： ② 部落差別解消に向けた教職員研修の実施
◆ 人権・部落差別解消推進指導員の活用

3. 目標指数の設定【実行】

目標指数	単位	目標値	目標値の設定根拠（数値の年度、割合等）
① 人権教育に係る年間指導計画の作成	校	8	全学校実施
② 人権・部落差別解消推進指導員による教職員研修の実施	校	8	全学校実施

4. 目標指標の達成度【評価】

目標指数	単位	目標値 a	実績値 b	達成率(%) b/a	達成度	自己評価	総合評価
① 人権教育に係る年間指導計画の作成	校	8	8	100%	◎	B	A
② 人権・部落差別解消推進指導員による教職員研修の実施	校	8	8	100%	◎		

5. 現状認識及び今後の課題【改善】

主要事業： ① 児童生徒への部落差別解消に向けた人権教育の指導及び啓発活動の推進
◆ 年間指導計画を各学校で作成し、1年間の見通しをもって計画的に指導を行った。人権が尊重される社会を目指して継続的な取り組みを今後も実施していく。
主要事業： ② 部落差別解消に向けた教職員研修の実施
◆ 部落差別解消推進指導員や県の指導主事を講師に招いての人権授業・職員研修を各学校で実施した。校長会時にも研修や職員提案を実施しており継続して取り組んでいく。

令和7年度（令和6年度分）玖珠町教育委員会事務の点検・評価調査

大項目（分野）	Ⅲ	人権教育	担当所属	社会教育班
中項目（方針）	2	あらゆる場における人権教育の推進		

事務報告 1505.1506

1. 主要事業【計画】

主要事業	① 玖珠町人権公開講座の開催 ② 広報くす「あなたの人権・わたしの人権」の掲載 ③ 部落差別の解消の推進に関する法律の目的に沿った事業実施
前年度整理した課題	① P T A、教員、町職員の研修として参加者の確保 ② 小中学校の協力により継続していく。 ③ 人権啓発チラシの配布

2. 令和6年度に実施した取組【実行】

主要事業： ① 玖珠町人権公開講座の開催
◆ 講師と十分な打ち合わせを行いわかりやすい内容とすることで、参加者の満足度を上げる。
主要事業： ② 広報くす「あなたの人権・わたしの人権」の掲載
◆ 年12回掲載
主要事業： ③ 部落差別の解消の推進に関する法律の目的に沿った事業実施
◆ 人権啓発チラシの配布

3. 目標指数の設定【実行】

目標指数	単位	目標値	目標値の設定根拠（数値の年度、割合等）
① 受講者数の確保	名	340	令和5年度受講者数
① 受講者の理解度	%	94.1	令和5年度アンケートの「分かりやすい」、「まあまあ分かりやすい」の合計パーセンテージ
② 人権作文の「広報くす」掲載	回	12	12回（令和5年度）毎月掲載
③ 人権啓発チラシの配布	回	3	青少年健全育成大会、語りべ大会、家庭教育講演会

4. 目標指標の達成度【評価】

目標指数	単位	目標値 a	実績値 b	達成率(%) b/a	達成度	自己評価	総合評価
① 受講者数の確保	名	340	334	98.2	○	B	A
① 受講者の理解度	%	94.1	94.1	100.0	◎		
② 人権作文の「広報くす」掲載	回	12	12	100.0	◎		
③ 人権啓発チラシの配布	回	3	3	100.0	◎		

5. 現状認識及び今後の課題【改善】

主要事業： ① 玖珠町人権公開講座の開催
◆ 魅力ある、参加してみたいと思う講座内容の工夫（講師選定）が大切である。講師とは事前に打ち合わせを行い、学習内容や学習形態を確認することで、人権公開講座に合致した講演となった。 ◆ また、毎回年間テーマを確認してから講演に移ることで、人権公開講座の目的を受講生が認識し、年間で学ぶことの意義を伝えることができた。
主要事業： ② 広報くす「あなたの人権・わたしの人権」の掲載
◆ 町内小中学校及び高校、また社会人（人権公開講座受講者）から作文の提出を受け、広報くすに毎月掲載することができた。様々な視点で人権課題を考える機会と捉え、今後も継続していく。
主要事業： ③ 部落差別の解消の推進に関する法律の目的に沿った事業実施
◆ 部落差別解消推進だけではなく、大分県パートナーシップ制度等様々な人権課題に関するチラシを配布した。また、人権公開講座や人権を守るつどい、考えるつどいのチラシを配布し、相互に周知することができた。